

## 手 続 補 正 書

カルパニョーニ

(法第11条の規定による補正)

特許庁審査官 殿

1. 国際出願の表示 PCT/J P 03/08439

2. 出 願 人

名 称 ダイハツ工業株式会社

DAIHATSU MOTOR CO., LTD.

あ て 名 〒563-8651 日本国大阪府池田市ダイハツ町1番1号

1-1, Daihatsucho, Ikeda-shi, Osaka 563-8651 Japan

国 籍 日本国 Japan

住 所 日本国 Japan

出 願 人

名 称 株式会社 キャタラー

CATALER CORPORATION

あ て 名 〒437-1492 日本国静岡県小笠郡大東町千浜7800番  
地7800, Chihama, Daito-cho, Ogasa-gun, Shizuoka  
437-1492 Japan

国 籍 日本国 Japan

住 所 日本国 Japan

3. 代 理 人

氏 名 (10351) 弁理士 岡本 寛之

OKAMOTO Hiroyuki

あ て 名 〒541-0048 日本国大阪府大阪市中央区瓦町4丁目8番  
5号 瓦町NKビル

Kawaramachi NK Building, 8-5 Kawaramachi  
4-chome, Chuo-ku Osaka-shi, Osaka 541-0048 Japan

#### 4. 補正の対象

明細書および請求の範囲

#### 5. 補正の内容

「明細書」および「請求の範囲」を別紙差し替え用紙のとおり、補正する。

補正事項は以下のとおり。

(1) 明細書第7頁第3行に、「本発明の触媒組成物は、貴金属と、ペロブスカイト型複合酸化物と、 $\theta$ アルミナおよび／または $\alpha$ アルミナとを含んでいることを特徴としている。」と追加補正する。

(2) 請求の範囲第161頁第9行に、「23. 貴金属と、ペロブスカイト型複合酸化物と、 $\theta$ アルミナおよび／または $\alpha$ アルミナとを含んでいることを特徴とする、触媒組成物。」と追加補正する。

#### 6. 添付書類の目録

(1) 明細書（第7頁および第7／1頁）の差し替え用紙

(2) 請求の範囲第161頁の差し替え用紙

L a の硫酸塩、炭酸塩、硝酸塩および／または酢酸塩を含むことが好ましい。

本発明の触媒組成物は、貴金属と、ペロブスカイト型複合酸化物と、 $\theta$  アルミナおよび／または $\alpha$  アルミナとを含んでいることを特徴としている。

- 5 本発明の排ガス浄化用触媒によれば、 $900^{\circ}\text{C} \sim 1000^{\circ}\text{C}$  を超える高温雰囲気下においても、貴金属の触媒活性を、長期にわたって高いレベルで維持することができ、優れた排ガス浄化性能を実現することができる。

### 発明を実施するための最良の形態

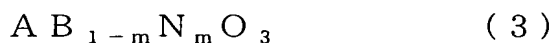
- 10 本発明の排ガス浄化用触媒は、貴金属と、ペロブスカイト型複合酸化物と、 $\theta$  アルミナおよび／または $\alpha$  アルミナとを含んでいる。

本発明の排ガス浄化用触媒は、これら貴金属、ペロブスカイト型複合酸化物、 $\theta$  アルミナおよび／または $\alpha$  アルミナを含んでいれば、それぞれが混合されていてもよく、また、ペロブスカイト型複合酸化物、および／または、  
15  $\theta$  アルミナおよび／または $\alpha$  アルミナに、貴金属が担持されていてもよいが、好ましくは、貴金属を含有するペロブスカイト型複合酸化物と、 $\theta$  アルミナおよび／または $\alpha$  アルミナとを含んでいる。

本発明において、貴金属を含有するペロブスカイト型複合酸化物は、一般式  $\text{ABO}_3$  で表されるペロブスカイト型構造を有する複合酸化物であって、

- 20 例えば、貴金属を組成として含有しているペロブスカイト型複合酸化物や、貴金属を担持しているペロブスカイト型複合酸化物などが挙げられる。

貴金属を組成として含有しているペロブスカイト型複合酸化物は、例えば、下記一般式 (3) で表される。



- 25 (式中、A は、希土類元素およびアルカリ土類金属から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、B は、希土類元素および貴金属を除く遷移元素およびAから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、N は、貴金属を示し、m は、

0 < m < 0.5 の数値範囲の N の原子割合を示す。)

一般式 (3) において、A で示される希土類元素としては、例えば、S c

C

C

前記外側層に、P t および R h が担持されている前記ジルコニア系複合酸化物、P t が担持されている前記セリア系複合酸化物、および、P t および R h が担持されている  $\theta$  アルミナからなる群から選ばれる少なくとも 1 種の耐熱性酸化物が含まれていることを特徴とする、請求の範囲第 1 4 項記載の

5 排ガス浄化用触媒。

2 2. さらに、B a、C a、S r、M g、L a の硫酸塩、炭酸塩、硝酸塩および／または酢酸塩を含むことを特徴とする、請求の範囲第 1 項記載の排ガス浄化用触媒。

C 2 3. (追加) 貴金属と、ペロブスカイト型複合酸化物と、 $\theta$  アルミナおよ  
10 び／または  $\alpha$  アルミナとを含んでいることを特徴とする、触媒組成物。

C